

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都千代田区神田和泉町 1
園名	千代田区立いずみこども園

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然物との関わり（造形）

<テーマの設定理由>

様々な自然物を造形活動に取り入れることで、自然との関わりを豊かにしたり、イメージを広げて、考えたり、工夫したりする経験を深めるため。

外部講師からの指導を受けた後に、日々の保育活動の中でも取り入れることで、興味を持続につなげたり、葉の形や大きさの違いなど気付きを深めたりしていく。

### 2. 活動スケジュール

4月上旬 外部講師の先生方と事前打合せ

活動場所実地踏査

5月上旬 造形『自然となかよし遊び』の内容決定

細案完成

5月19日～23日 遠足に向けた取り組み

（遠足に関する絵本の読み聞かせ、話、遊びなど）

5月23日 親子遠足（当日）

翌日以降 遠足の経験を再体験できるような遊びを取り入れる

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・自然いっぱいの公園で、自然物を使った造形活動をすることを楽しめるよう、事前に公園の環境を下見し、活動する場所を決定した。
- ・造形活動では、活動に必要な素材（大きささまざまな大きさの紙コップ、セロハンテープ、目玉シール、ウエットティッシュなど）を講師の先生方を中心に準備した。

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

###### ○造形『自然となかよし遊び』

『葉っぱのコップ楽器作り』では、親子で紙コップ笛に、草花で色を付けたり、自然物をセロハンテープで貼り付けたりして飾りつけ、出来上がった紙コップ笛をみんなで演奏した。ウエットティッシュを使って紙コップについているタコ糸を優しくこすると、様々な音がする。自由に音を鳴らしたり、歌に合わせてみんなで合奏をしたりした。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

###### ○造形『自然となかよし』

公園にある自然物を使って自分だけの紙コップ笛を作った。親子で「ここにお花があったよ」や「これ使いたい!」「いいね」など会話をしたり、共感し合ったりしながら自然と触れ合い、作ることを楽しんだ。どのようにすると音になるのか、親子で試したり、他の家族と教え合ったりするなど、交流も多く見られ、楽しい時間となった。最後は、講師の先生方の歌に合わせて全員で合奏をした。演奏後には自然と拍手や笑顔が生まれ、「楽しかったね」と親子で言葉を交わす様子もあった。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

講師の先生方と事前に打合せをし、計画的に当日を迎えることができた。遠足で経験したことを後日の遊びで再現（ピクニックごっこやおにぎり、サンドイッチ作りなど）する姿が見られたり、より自然への興味が高まり、園庭や和泉公園などで見つけた植物を見て、気付いたことを話したり、遊びに使ったりしていた。子どもたちの園生活はすべてつながっているため、行事で経験したことを園生活の中につなげたり、遊びに生かしたりすることが大切であると改めて感じた。また、5月の心地よい気候の中で造形活動をする体験は、親子の関係を深める取組みであるとともに、保護者同士の交流の場にもなると感じた。子どもたちも、保護者と一緒に遠足に参加することをとても喜んだり、楽しんだりしていた。3歳児最初の遠足だったが、保護者と一緒に参加することで安心して楽しむことができたと思われる。